

平成 20 年 4 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社アルファ・トレンド・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 松室 弘之
コード番号 4352 札幌証券取引所
問合せ先 経理・財務マネージャー 原田文生
(TEL. 011-281-3650)

(追加) 「第三者割当による新株式の発行及び親会社の異動に
関するお知らせ」の一部追加のお知らせ

当社が、平成 20 年 3 月 31 日に発表いたしました「第三者割当による新株式の発行及び親会社の異動に関するお知らせ」の記載内容について、一部追加がありましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

追加記載及び修正部分は下線で表示しております。

1. I. 2. (2) 調達する資金の具体的な用途

(修正前)

自己資本の増強により財務基盤を改善させるとともに、「事業の拡大成長」を具現化するための事業提携やM&A資金等に充当する予定であります。

(修正後)

自己資本の増強により財務基盤を改善させるとともに、「事業の拡大成長」を具現化するため、既存事業については不採算事業の整理を含めた取捨選択を行うとともに、新しい分野でのコンサルティング事業をM&A等により取得し、これを既存事業と有機的に連携させることにより、総合コンサルティンググループとして顧客が抱える経営課題の解決についてのワンストップソリューションの実現を目指していく所存であります。

今後当社グループが経営構造改革を実行し、事業の拡大成長を図るためには、既存事業における事業提携や新しい分野でのコンサルティング事業の立ち上げ等を適切なタイミングで行う必要があります。既存事業における人材の拡充、採用及び教育資金、新規事業立ち上げ資金等に充当する予定であります。

2. I. 7. (2) 割当先を選定した理由

(修正前)

当社グループは、IT受託開発事業、ITセールス・プロモーション事業、会計・コンサルティング事業及び投資事業を有しておりますが、誠に遺憾ながら2期連続の最終赤字が見込まれる状況にあります。このような状況を打開し、グループ全体における効率経営を実行していくためには、事業の選択と集中も含めた事業ポートフォリオの再構築が必要であると認識しております。

そのため、既存事業については不採算事業の整理を含めた取捨選択を行うとともに、新しい分

野でのコンサルティング事業をM&A等により取得し、これを既存事業と有機的に連携させることにより、総合コンサルティンググループとして顧客の持つ経営課題の解決についてのワンストップソリューションの実現を目指していく所存であります。

このような環境のもと、当社グループが、経営構造改革を実行し、事業の拡大成長を図るためには、既存事業における事業提携や新しい分野でのコンサルティング事業のM&A等を適切なタイミングで行う必要があります、それには一定の資金力が必要となります。

そのため、割当先の選定に当たっては、十分な資金調達能力を有することはもちろん、当社が掲げる前述の経営戦略に対してご賛同頂き、ご協力いただける事業パートナーであることが前提となります。

割当先であるElite Advance International Ltdは、投資業を目的とする会社であります。前述の当社を取り巻く厳しい環境をご理解いただき、その上で長期的視点に立った安定大株主として、当社の経営戦略にご協力をいただけるパートナーであると判断いたしました。

(修正後)

当社グループは、IT受託開発事業、ITセールス・プロモーション事業、会計・コンサルティング事業及び投資事業を有しておりますが、誠に遺憾ながら2期連続の最終赤字が見込まれる状況にあります。このような状況を打開し、グループ全体における効率経営を実行していくためには、事業の選択と集中も含めた事業ポートフォリオの再構築が必要であると認識しております。

そのため、既存事業については不採算事業の整理を含めた取捨選択を行うとともに、新しい分野でのコンサルティング事業をM&A等により取得し、これを既存事業と有機的に連携させることにより、総合コンサルティンググループとして顧客の持つ経営課題の解決についてのワンストップソリューションの実現を目指していく所存であります。

このような環境のもと、当社グループが、経営構造改革を実行し、事業の拡大成長を図るためには、既存事業における事業提携や新しい分野でのコンサルティング事業のM&A等を適切なタイミングで行う必要があります、それには一定の資金力が必要となります。

そのため、割当先の選定に当たっては、十分な資金調達能力を有することはもちろん、当社が掲げる前述の経営戦略に対してご賛同頂き、ご協力いただける事業パートナーであることが前提となります。

割当先であるElite Advance International Ltdは、投資業を目的とする会社であります。上記のような環境の下で資金調達計画を策定する中、当社の信頼できる方からの紹介により、過去に上場企業の引受実績を有する当該引受先において、前述の当社を取り巻く厳しい環境をご理解いただき、その上で長期的視点に立った安定大株主として、当社の経営戦略にご協力をいただけるパートナーであると判断いたしました。

以 上